

平成21年度金沢医科大学医学部入学試験問題
一般入学試験（数学）

- 1 (1) 原点と点A(2, 3, 1)を結ぶ直線上の点で、定点B(5, 9, 5)との距離が最小になる点の座標を求めると $\left(\boxed{\text{ア}}, \boxed{\text{イ}}, \boxed{\text{ウ}} \right)$ となる。

- (2) 0から9までの数字がひとつずつ書かれたカードが10枚ある。カードをよくきって、その中から2枚のカードを同時に引くとき、2枚のカードの数字の差が3以上になる確率は $\frac{\boxed{\text{エオ}}}{\boxed{\text{カキ}}}$ である。

- (3) 実数 a に対して、 x に関する2次方程式 $x^2 + (a-1)x + (a+2)^2 = 0$ が実数解 α, β を持つとする。このとき、 $(\alpha-1)(\beta-1)$ を a で表した式を $f(a)$ とする。この $f(a)$ は $a = -\frac{\boxed{\text{ク}}}{\boxed{\text{ケ}}}$ のとき最小値 $-\frac{\boxed{\text{コ}}}{\boxed{\text{サ}}}$ を取り、 $a = -\boxed{\text{シ}}$ のとき最大値 $\boxed{\text{ス}}$ を取る。

- (4) 自然数 $n (\geq 2)$ に対して、 $n-1$ 個の数の積

$$\sin \frac{\pi}{n} \sin \frac{2\pi}{n} \cdots \sin \frac{(n-1)\pi}{n}$$

を作るとき、その値は、 $n=6$ のとき $\frac{\boxed{\text{セ}}}{\boxed{\text{ソタ}}}$ であり、 $n=12$ のとき $\frac{3}{\boxed{\text{チツテ}}}$ である。

- (5) $0 \leq x \leq \pi/2$ であるすべての x に対して、不等式 $\sin^2 x + a \cos x \geq 1$ が成立するための必要十分条件は実数 a が不等式 $a \geq \boxed{\text{ト}}$ を満たすことである。

平成 21 年度 金沢医科大学医学部入学試験問題
一般入学試験（数 学）

- 2 (1) 座標平面上に曲線 $y = \sin x$ ($0 \leq x \leq 2\pi$) と $y = 1 - \cos x$ ($0 \leq x \leq 2\pi$) がある。この 2 つの曲線で囲まれる 2 つの領域のうち、面積の大きい方を D_1 とし、面積の小さい方を D_2 とする。このとき、 D_1 の面積から D_2 の面積を引いた値は $\boxed{\text{ナ}}$ π である。

- (2) 一辺の長さが 6 の正三角形 ABC がある。この正三角形の内部に 2 つの点 P, Q を取り、ベクトル $\overrightarrow{PQ}$ を考える。点 P から辺 AB, BC, CA に垂線を引き、その交点をそれぞれ I, J, K とする。同様に、点 Q から辺 AB, BC, CA に垂線を引き、その交点をそれぞれ L, M, N とする。 $\overrightarrow{PQ}$ は $\alpha \overrightarrow{BA} + \beta \overrightarrow{BC}$ のように、実数 α, β を使って表される。このとき、 $\overrightarrow{IL} = \left(\alpha + \frac{\boxed{\text{ニ}}}{\boxed{\text{ヌ}}} \beta \right) \overrightarrow{BA}$ となる。同様に、 $\overrightarrow{JM} = \left(\frac{\boxed{\text{ネ}}}{\boxed{\text{ノ}}} \alpha + \beta \right) \overrightarrow{BC}$ となる。したがって、3 個のベクトル $\overrightarrow{IL}, \overrightarrow{JM}, \overrightarrow{KN}$ の和は $\frac{\boxed{\text{ハ}}}{\boxed{\text{ヒ}}} \overrightarrow{PQ}$ と一致する。

- (3) 座標空間の 3 点 A(12, 0, 0), B(0, 12, 0), C(0, 0, 12) を頂点とする正三角形 ABC がある。この三角形上にあり、各座標が正の整数である点すべてに対して、 x 座標の値の和を求めると $\boxed{\text{フヘホ}}$ となる。

- (4) 三角形 ABC において、 $BC = 9$, $CA = 12$, $\angle C = 4\theta$ とする。辺 AB 上に点 P を取り、 $\angle ACP = \theta$, $CP = x$ とする。このとき、 x は θ で表わされて、 $\lim_{\theta \rightarrow 0} x = \frac{\boxed{\text{マミム}}}{\boxed{\text{メモ}}}$ となる。